

市埋蔵文化財センター

☎ 23-8020

27

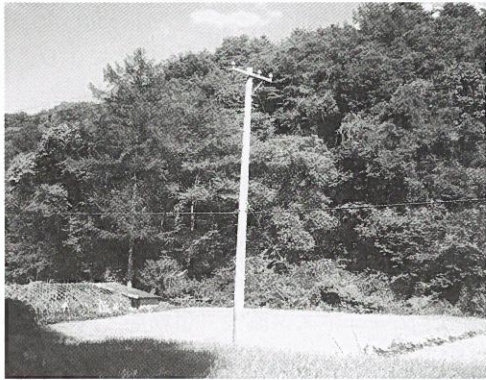
どきどき
たいむとらべら

「紙漉沢山」を探して…

盛岡藩家老席日誌「雑書」の慶安4年(1651年)の項に、「藩の御用を承る紙漉き職人・浄法寺村佐吉…納めた紙の代金と相殺で年貢を免除する」という内容の記述があります。

江戸時代、和紙の原料となる楮こうぞは、やせ地にも生育し栽培が容易だったため、各藩ともに植栽を奨励しました。そうした流れを受け、浄法寺でも紙漉きが行なわれたと考えられますが、詳細はわかりません。やがて紙漉きは全国の農村に普及し、特産物とする地域もでてきました。ちなみに文政4年(1821年)の物産取調書によれば、近郷の中佐井村(旧安代町)では「松皮紙(檀紙)」という和紙を産出しています。

さて、ある時『新撰陸奥国誌』(明治



ご対面した紙漉沢山。今後も調査していきます

9年刊行)という書物を読んでいたところ、御山の近くに「紙漉沢山」という山があると書かれた文章が目にとまりました。この地名、実は青森県弘前市(旧相馬村)にも同じものがあり、そこには天台寺と同様、長慶天皇の墓があります。しかも帝に随行して来た高野山扁照院の僧・秀明が紙漉きを教えたという伝承があると聞き、浄法寺の「紙漉沢山」はどこなのか御山の皆さんに尋ねてみたのですが、みな首をかしげるばかり。何かの間違いかと思いつつ今度は森林組合に聞いてみると「ああ、ありますよ、吉田に…」。吉田…ですか?早速ご案内いただき「紙漉沢山」とご対面です。文献上の位置とは若干ずれるような気がしますが、山の様相は記述のとおりでした。ただ、紙漉きの伝承や山名の由来は地元になく、またなお調査が必要です。浄法寺の紙漉き、何かわかると良いのですが…。

こみゅにTeaたいむ

36杯目

地域花壇コンクールに参加しませんか!

住みよい二戸市をつくる市民運動推進協議会(久慈浩会長)では今年度も「地域花壇コンクール」を開催し、6月1日から一般参加団体の受け付けを開始します。この協議会は、豊かな住みよい二戸市をつくる運動を推進するため設立された組織で、一声あいさつ運動、市民憲章の周知、地域花壇コンクールの開催の3つを中心として活動しております。

今年度で5回目となる地域花壇コンクールは、市内に花壇を多くして明るく、笑顔がこぼれる豊かなまちづくりを進めることを目的に開催しています。昨年度は、協議会加盟団体から31団体、一般の参加団体が7団体の合計38団体でコンクールを開催しました。

皆様の地域でも地域花壇コンクールに参加し、明るく住みよい二戸市にしましょう。

参加資格 市内にある市民が目にするのできる花壇(プランターも利用可)を持つ人

参加方法 1件2,000円の参加料を申込書に添えて協議会へお申し込みください。

募集受付 6月1日(火)～7月16日(金)

審査・賞 参加花壇を7月21日～7月30日の期間に審査し、美しく工夫のある花壇に賞を贈ります。

★グランプリ(1花壇) 金冠プレートと賞金(2万円)

★準グランプリ(2花壇) 銀冠プレートと賞金(1万円)

★入選(5花壇) 賞金(3千円)…を予定

協賛の募集 花壇の肥料および協賛金にご協力していただける市内の事業所・企業を募集しております。

問い合わせ先 住みよい二戸市をつくる市民運動推進協議会事務局(市地域づくり推進課 内線654)



花いっぱい豊かな住みよい二戸市にしましょう

この欄の問い合わせは、市地域づくり推進課(内線654)まで